

医療・健康

「薬用養命酒」の主要成分

「クロモジ」エキスに

インフル抑制効果

香りが高く、高級ようじに使われているクスノキ科の落葉低木「クロモジ」のエキスに抗ウイルス作用があることが養命酒製造(東京)の研究で判明。このエキス入りのどあめがインフルエンザウイルスの感染を抑えることが分かった。

乾燥・濃縮して抽出したエキスを調べると、インフルエンザやノロなどのウイルスに対し、不活化や増殖抑制の作用があることを確認。そこでエキス入りのどあめを作り、愛媛大病院抗加齢・予防医療センター長の伊賀瀬道也医師と共同で効果を調べた。研究は2017年末から

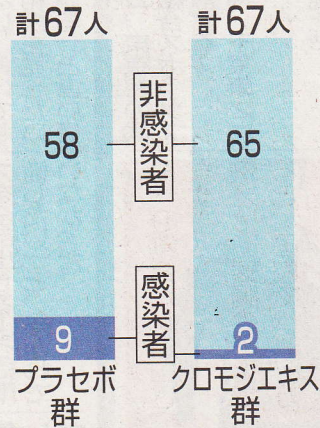
のインフルエンザ流行期に同病院の看護師134人を対象に、半数にエキス入りのどあめ、残る半数にエキスが入っていないプラセボ(偽薬)あめを1日3回、食事後3カ月間なめてもらった。

看護師は全員インフルエンザワクチンを接種。厳密な二重盲検試験で、毎日症状などを調査票に記入、終了後に分析した。

その結果、インフルエンザ感染者数はエキス入り群が2人、プラセボ群は9人となり、エキス入りあめは統計学的に有意に感染を防ぐ効果があったとされた。

伊賀瀬医師は「つがいと比べ、あめの形がよかったのではないか。なめている間、エキスのポリフェノール成分が喉にとどまることのできた」と話している。

インフルエンザ感染に対する効果
(全員ワクチン接種済み)



(愛媛大の伊賀瀬道也医師による)